

技術の日立

 HITACHI

進んだ技術は、人にやさしい。



コンピュータなどの高度なエレクトロニクス機器が、私たちのみちかな存在となりました。それだけに、いま、なによりも重要になっているのが、人と機械のよりよい関係をつくりあげること。日立が、機械やシステムを手軽に使えるようにするための研究に力を注いでいるのも、そうした人間と機械のフレンドリーな関係の実現をめざしているからです。誰もが高度な技術と親しくつきあえるようにするため、機械やシステムを人間に近づける努力をする——それが日立の考えるインターフェイスです。

Interface

インターフェイスは、「人と技術の理想をめざす」日立のスローガンです。

地元 沖縄が大活躍

少年男、女に初優勝



一巡目最後の国民体育大会秋季大会は、「海邦国体」と題して10月25日から沖縄県で開催された。ハンドボール競技は、10月26日から30日までの5日間、浦添市民体育館、浦添運動公園陸上競技場、東風平町営体育館、具志頭村社会体育館の各会場で開催された。今回は成年男子が全県参加種目であったが、三重（本田技研鈴鹿）が広島（日新製鋼）を降し、初優勝

を飾った。成年女子は、大阪（大和銀行）と熊本（立石電機山鹿）という対戦となったが、予想外の大差で大阪が勝ち、大和銀行としては初優勝（大阪としては成年女子となつては初優勝だが、一般女子の頃に7回優勝している）を飾った。

少年の部は、男女とも地元・沖縄が大活躍を受けて健闘、見事に男女共に初優勝を飾った。

成年男子

◆1回戦

富山 27 (1215 | 169) 25 岐阜 阜

〔戦評〕試合開始より両チーム共個人プレーで単発的に得点を加え展開していたが、15分経過頃より石川チームはコンビネーションが合い始め古橋、藤井が連続ゲット22分には6点差とする。一方、佐世保は井村、馬場の個人プレーのみでのゲットで対抗するが10点の大量差で前半終了。

後半もまったく前半のゲーム展開同様で、全員が良く走った上、総合力に勝る石川が41-22との大差をつけて佐世保を一方的に下した。（福田）

得0022613136000
子田添永納高口村場島本田
〔佐世保〕金福田松加山出井馬村橋岡 (0) 22

G K F P (審・野中) P T
藤 藤

〔切通〕
幅のある富山にやや分があった。

得001171080304
田中倉隆島野田元木野尾橋
〔岐阜〕野田名加飯牧木加鈴上西高 (1) 25

G K F P (審・大友寄) P T
〔富山〕谷上前原坪崎山崎浦田永
〔石川〕水広越金小山中栗指中上秀
得005922212301 27 (2)

〔茨城〕前半は互角の試合展開で終わる。後半は、茨城が残り10分ぐらいから松信、久保田などの速攻により次第に点差を広げて逃げ切った。

〔長崎〕石川 41 (1625 | 1210) 22 佐世保

前、後半を通じて少し荒っぽい試合のようであった。（萬場）

テンポで攻撃し、香川も追いかけるがおよぼ岡山の勝利となる。

(里)

長野 24 [1212 | 111] 22 福岡
 (全長野) (戦評) 立ち上がりは両チーム共通さがあり、シュートミス、パスミスが目立った。中盤からお互いにミスに乗り得点を重ね出し、長野が岩下の巧技などでわずかに1点リードして折り返す。後半、すぐに福岡が逆転し、2点差で進むが長野も盛り返し20分に21-21の同点になる。4分間両チーム共無得点であったが、24分長野・行田が相手パスをインターセプトし速攻で再度逆転、さらに加点了終了する。長野の巧さが福岡の若さを上回った。(古富)

得0052440700000
 岡 條上田田本村永野西木賀田
 福 七水野藤坂吉稲平沖白古前
 G K F P (審・楠・戸) P T (2) 22

野 桐島内饒島田辺木山彌下屋
 長 片北竹塩矢行渡青小塩岩鳥
 得0001820003046
 愛 媛 34 [2113 | 1215] 27 青 森
 (愛媛選抜) (戦評) 試合開始直後青森は、足を生かしミドルシュート、速攻と得点を決めるが、愛媛もポスト、速攻と得点を決め、25分には一進一退となるが、残り3分青森は速

攻、ペナルティースローを確実に決め、前半青森の2点リードで終了する。後半に入るとすぐ愛媛が同点に迫いつき、その後も青森のミスを生かし確実に得点を重ね愛媛が勝利した。(大城)

攻、ペナルティースローを確実に決め、前半青森の2点リードで終了する。後半に入るとすぐ愛媛が同点に迫いつき、その後も青森のミスを生かし確実に得点を重ね愛媛が勝利した。(大城)

得0011106040122
 青 藤鈴町柳佐藤横工葛石三小笠
 森 川木屋谷木本山藤西田上原
 G K F P (審・切・通) P T (2) 27

愛 媛 村田中岡子福崎野田 井藤
 得00666540400360
 千 葉 31 [1615 | 1314] 27 奈 良
 (千葉教員) (戦評) 奈良はGKの好守と金丸のロングシュートなどで得点を重ねて行ったが、中盤より千葉は奈良のエース金丸にマンツーマンについてからようやくベースをつかみ、両チーム共点の取り合いとなり15-14千葉1点のリードで折り返す。後半に入り、奈良は速攻とサイド

得003005276040
 良 木野川本田林田丸田沼 中
 奈 柿小佐阪増小上金村菅 田
 G K F P (審・赤・地) P T (2) 27

得003005276040
 葉 原 上村井田村田鐘名藤井
 千 山仲松仲植寺大飯加安
 得0069100023001
 31 (1) P T

攻、ペナルティースローを確実に決め、前半青森の2点リードで終了する。後半に入るとすぐ愛媛が同点に迫いつき、その後も青森のミスを生かし確実に得点を重ね愛媛が勝利した。(大城)

シュートで加點、一方、千葉は長身を生かしてのロングシュート、ポストプレーで加點し、シューターゲームとなったが、31-27で千葉が勝利をものにした。(楠戸)

大 分 36 [14 | 16] 17 15 16
 3 2 1 3 2
 3 2
 36 神奈川 (全神奈川)

〔戦評〕大分は後藤、二宮の速攻などで加點し、波に乗るかに見えしたが、神奈川も千葉のロング、黒沢のカットインなどが良く決まり逆転に成功、16-14で前半を終了する。後半に入り大分のGKの好守が光り良く追い上げ、再逆転に成功したが神奈川も良く粘り31-31で延長戦に入る。延長戦も5-5で勝負がつかずP.T.Cの結果3-1-2で大分が勝つ。(上原)

得003703660254
 奈 田藤場沢野形原谷船木葉田
 神 吉佐釜黒藤尾海守貴鈴千斉
 G K F P (審・萬・場) P T (1) 36

得00252203447535
 大 保内辺立斐下宮藤藤来地田
 分 大藤渡足甲竹二工後朝山篠
 得000252203447535
 36 (3) P T

得00252203447535
 大 保内辺立斐下宮藤藤来地田
 分 大藤渡足甲竹二工後朝山篠
 得000252203447535
 36 (3) P T

制、その後、宮下のロング、松岡のサイド等多多彩な攻撃で確実に得点を重ね、20分までに17-5でリード、富山は20分過ぎからようやくエンジンをかかき、金原のサイド、ポストと得点するが、22-12で埼玉のリードで折り返す。後半ディフェンスの足が止まった埼玉に対し、リズムをつかんだ富山は越前のロング、金原のポストと得点を重ね20分までに6点差まで追いつけた。ゲームとしては富山の善戦が光った。(森山)

得00581115314000
 富 谷上前原坪崎山山崎蒲田永
 山 水広越金小山中栗指中上秀
 G K F P (審・宮・元) P T (3) 28

得0053338111033013
 玉 辺内岡田田藤本迫田場下
 和 渡矢松大武首中山越菅相宮
 得0053338111033013
 37 (3) P T

得0053338111033013
 玉 辺内岡田田藤本迫田場下
 和 渡矢松大武首中山越菅相宮
 得0053338111033013
 37 (3) P T

熊 本 38 [1721 | 1310] 23 宮 城
 (熊本技撃) (戦評) 立ち上がりから、熊本は速い動きでディフェンスをかいくぐり、荒田、三代、川崎の連続シュートで試合の主導権を握る。それに対し、宮城は尾形のサイドシュート、菅井の連続ゴールで追いつけ21-10で前半終了。後半は、一進一退のゲームが続くが、前半の失点を返すことができず試合終了。熊本のスปีドが際立った試

得00252203447535
 大 保内辺立斐下宮藤藤来地田
 分 大藤渡足甲竹二工後朝山篠
 得000252203447535
 36 (3) P T

◆ 2 回 戦

埼 玉 37 [1522 | 1612] 28 富 山
 (大崎電気) (戦評) 埼玉は大和田の速攻で先



株式会社デサント/デサントトレーディング株式会社

合だった。(高良)

得0000722204026
藤葉井野井西場石藤寺川形
城佐秋桜小昔小弓蛇加小荒尾

G K F P (審・高橋) P T (2)

本尾本中口(邊伯)所田代村崎
熊野野野野野野野野野野野
[中板田山長佐長齊荒三松川
得002372714516

佐賀 27 (1512 | 111) 22 兵 庫

〔戦評〕双方のディフェンスが固くロースコアの展開、ようやく12分過ぎから佐賀が速攻で加点、リードが広がるかに見えたが兵庫もセットで応戦、前半12-11佐賀リードで終了。
後半も佐賀ベテラン小松のステップと前半同様、速攻で着々と得点を重ね、佐賀優勢のうちに試合終了。(高橋)

得00034113350201
藤野田場西岡内辺園井尾口
兵近狩浜の大松竹岡西今堀寺

G K F P (審・高良) P T (5)

質)口中手岐立小松原木 口口
佐野田井志羽石小中白 磯野
得0000233561520

G K F P (審・高良) P T (2)

鳥取 32 (12 | 17) (13 | 8) (5 | 1) (2 | 3) 29 群馬 (あかぎ)

〔戦評〕立ち上がりは、セットの攻防となったが、鳥取がロングシュートをはずしたのに対して、群馬は岡田のサイドシュート、高梨のステップシュートで加点し、前半10分で5-2とリードした。その後鳥取は、児玉のロングシュートと古賀のステップシュートで反撃したが、結局前半は17-12で群馬がリードした。後半鳥取は、フォーメーションと速攻で追いつき25-25で延長に入った。延長7-4で鳥取の勝利。(宮元)

得000110002154402
原口梨石原井川田井沢山
馬原口梨石原井川田井沢山
群野高越上今長岡栗新小寺

G K F P (審・森山) P T (0)

取川本村月中賀玉木井志沢車
鳥足桑西望田古児荒松仁小六
得000017515221010

G K F P (審・高橋) P T (5)

栃木 34 (17 | 13) (17 | 13) 22 愛媛
〔戦評〕前半開始10分まで栃木は武井、中山、滝口らの攻めで11-3と愛媛をリード。しかし15分過ぎより気のゆるみから難になり愛媛に逆速攻を許し、23分には13-8。それでも薄井の速攻、小西のポスト、滝口のロングで前半17-

9で終了。後半に入り、栃木は岸のサイドシュートが3連続決まり試合の主導権を握る。愛媛も金子、東福のロング、ミドルで応酬するが多彩な攻めで着実に加点した。栃木が34-22で勝利した。(大城)

得00043561000030
媛村田中岡子福崎野田井藤
愛中塩田定金東塩上川今佐

G K F P (審・仲里) P T (1)

木下瀨下本田井井 口西出山
〔岩高山山川武湊 滝小大中
得00800153356312

石川 27 (14 | 13) (10 | 16) 26 滋賀

〔戦評〕双方共に大型チームにあさわしくセットでの激しい攻防をくり返し、前半25分過ぎまで10-10の同点。27分、滋賀・能波のステップシュートでリードを奪い井上の連続サイドシュートで3点差に広げ、16-13で前半終了。後半に入っても、お互いに一進一退の

得0001887010100
田田藤波上田野山橋尾田
滋石太位伊能井武大橋大西林

G K F P (審・大城) P T (3)

石川 中村本田田橋井田井田岡山
得0030011131000036

攻防を続けるが、20分石川・真田の同点シュート、23分橋本の速攻でついに逆転、気力が充実している石川が1点リードを守り切つてこのゲームを制した。(仲里)

山梨 27 (15 | 12) (11 | 10) 21 山口

〔戦評〕前半、両チーム共固さからか、パスミスやノーマークミスが目立ち、20分まで山梨の8-7と低い得点の立ち上がりであった。その後もミスは減らず、サイド、ポスト、ミドルとうまく攻めた山梨が12-10とリードして前半を終了した。後半、山口は2分に岡村の速攻で12-12と追いつき、その後山口は速攻、山梨はポストプレーで攻め合い12分まで17-17と互角、その後山口にミスが出た所を山梨が5連続シュート。山口もスカイプレーで追いつけるが、シュートに的確さを欠き、27-21で山梨が勝利。(知念)

得00001137034030
口村藤村村兼 山井村宗島崎
山吉加河岡吉 角 片石中重飯山

G K F P (審・仲里) P T (3)

梨(吻) 藤口屋健(倫)瀬川澤永
山島辻 藤藤藤藤藤藤藤藤藤藤
得006333100541440

G K F P (審・萬里) P T (5)

〔戦評〕立ち上がり、両チーム共

得00013641520445
沖垣新玉黒高名新宮上内新喜東

攻撃のミスとGKの好守でなかなか得点できなかったが、5分過ぎより日新が着実に得点を重ね11-7で前半を終了。後半に入っても日新がミドル、ロング、速攻で加点し、粘るトヨタを振り切つた。(屋嘉部)

得0005021131010130
知(鶴)井井田本江井(勢)尾子口野
〔愛西西井井田本江井(勢)尾子口野
中西香川相堀酒中松乙坂平

G K F P (審・大城) P T (1)

鳥川田 田山木斐井野田中瀬
得00013762334402

沖繩 38 (18 | 20) (18 | 8) 16 茨城

〔戦評〕沖繩の固いディフェンスとGK新垣の好守で開始早々、東江、新垣、喜舎場、名嘉、上原の速攻が連続して決まり沖繩ベースで進化した。茨城は、富永のロング、カットインを中心に応戦するが20-8の大差で前半を終了。後

得000120002011136
茨谷多(野)野(勢)石野信村田川永
〔雨本福浜福黒高松北久緑富

G K F P (審・萬里) P T (3)

〔戦評〕立ち上がり、両チーム共

シュートで加点した。一方、千葉は固い相手ディフェンスを破ることができず21-4で前半を終る。後半に入り、千葉は松井を中心にボールがよく回り、サイドシュートなどで加点したが、38-13で三重の順当勝ち。実業団チームを相手に最後まで千葉は良く戦った。

得点	0	0	3	2	3	3	0	1	1	0	0
業原	上村	井田	村田	田鐘	名藤	井	千塩	山仲	松植	寺大	飯加
安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安	安
38	(5)										

◆3回戦

得点	0	0	1	1	2	3	5	0	3	1	0	8
本尾	本中	口透	伯一	所	田代	村崎	熊本	坂田	山長	佐野	荒三	松川
24	(0)											

得点	0	4	3	4	3	7	0	0	0	0	0	12
王辺	岡田	藤田	本迫	田馬	下	松和	武首	中山	越菅	相宮	得0	
33	(1)											

1トを中心にして互角にわたり合戦。後半に入りと熊本の足が止まり、また退場で5人になったところをうまく攻めて、埼玉は着実に得点を広げていき逃げ切った。(高良)

得点	0	0	0	3	4	3	5	0	2	5	1	0
佐賀	口中	岐立	丸松	原木	口口	野田	井志	羽石	小中	白磯	境野	得0
23	(3)											

得点	0	0	4	1	8	3	8	0	2	0	0	0
鳥取	足桑	西望	田古	児荒	松小	六	川本	村中	賀玉	木井	志澤	得0
26	(4)											

得点	0	0	1	3	1	8	1	5	1	8	1	3
栃木	田の	両エ	ス同	士が	ふん	ばり	13	栃	木リ	ード	で	前
21	(1)											

後にも危なげない攻守で33-21で栃木が快勝した。(仲里)

得点	0	0	4	0	2	0	5	6	1	0	0	3
石川	中村	本田	橋井	田井	田岡	山	竹中	橋黒	西古	藤真	酒中	北土
21	(3)											

得点	0	0	3	6	4	1	0	4	0	0	9	0
梨	山島	武関	古佐	佐藤	廣	窪	中代	山島	藤	藤	島	得0
27	(2)											

得点	0	0	1	3	8	10	3	2	3	5	1	1
川田	田山	木斐	井野	田中	瀬	森	武西	高甲	藤日	堀野	一	得0
37	(3)											

の点差で敗れ去った。しかし、ゲーム内容は山梨が十二分の力を発揮し善戦と言えよう。(福田)

得点	0	0	0	2	2	0	3	0	0	2	3
秋田	吉石	高古	菅近	佐渡	半	齊	佐	田山	橋関	野木	部田
12	(0)										

得点	0	0	7	4	1	4	5	4	3	4	10
沖繩	新玉	黒高	名新	宮上	内嘉	舎東	里城	島長	嘉垣	城原	場江
42	(3)										

得点	0	0	7	5	1	0	10	4	7	0	3	7
大坂	宇吉	関	清田	吉砂	山浜	大安	河	川田	家口	原川	口田	
18	(5)											

ぐはぐで、それに付け込んで大阪は加点していった。攻撃力の差がはっきりとした試合であった。(大城)

得点	0	0	3	2	0	0	8	0	0	3	1	1
井田	村野	田風	橋林	口山	川中	上	柴川	竹半	五土	小谷	松宮	田川
18	(2)											

得点	0	0	2	4	3	0	3	0	0	9	2	2
鹿兒島	原山	山沢	茂	三	上	川山	鹿兒	島	池之	上	中心	得0
25	(3)											

得点	0	0	7	5	1	0	10	4	7	0	3	7
東京	宇吉	関	清田	吉砂	山浜	大安	河	川田	家口	原川	口田	
44	(5)											

清家が要所でポイントし勝利を得た。鹿兎島GK石原の好守が随所に見られた。(船越)

三 重42 (21 | 12) 19 長 野

〔戦評〕前半、三重ベースで展開立木、内藤などの得点で21-7で終る。後半も同じく三重ベースで始まり、速攻などで着々と加点。長野は健闘するも三重の動きにつけず、大差で敗れた。(高場)

得000253005040
野桐島内(岩)島田辺木山(下)谷
長片北竹塩矢行渡青小塩岩島

GK F P (審・知念) PT (2) 19

〔重〕畑本砂松村木上藤屋本口子
〔三〕大橋真三山立尾内粟山田平
得0053141156403

準々決勝

埼 玉33 (161 | 111) 22 鳥 取

〔戦評〕鳥取は田中、兎玉のロン
得000433705000
取川本村月中賀玉木井志澤車
〔鳥〕足桑西望田古兎荒松仁小六

GK F P (審・仲里) PT (0) 22

〔王〕辺内岡田田藤田本迫田馬下
〔埼〕渡矢松大武首中山越菅相宮
得0060241200108

33 (2) PT (0) 22

グシュート、松井の速攻などで前半20分までは10-12と頑張ったが、実力で勝る埼玉は、宮下のアシスト、中田の速攻で確実に加点し、前半17-11で終了した。最後まで全力を尽くした鳥取が印象に残った。(宮元)

広 島29 (141 | 159) 24 栃 木

〔戦評〕実力に勝る広島が西山、高木らのシュートで得点を重ね、武井、滝口のシュートで粘る栃木をくだした。(屋嘉部)

得0010151212101
木下橋下本田井井 口西出山
〔栃〕岩高山西川武浦 滝大中大

GK F P (審・宮元) PT (3) 24

〔鳥〕川田 田山木斐井野田中瀬
〔西〕森 武西高甲藤日堀野一
得004388211110

沖 縄39 (221 | 611) 17 大 阪

〔戦評〕前半両チーム固さがみられ、パス、シュートミスが目立つ。20分頃より、沖縄が走り出し速攻ポスト等で確実に得点を入れ、前半17-11沖縄のリードで終了。後半に入っても、沖縄が走り出し速攻、サイドシュートを決める。大阪もスカイプレー、速攻をするが

沖繩のGK新垣の再三の好守に
いなかなか得点が入らず、結局39-17で沖縄が圧勝する。(大城)

〔大〕阪貴田本野瀬西谷瀬松本本橋
〔信〕太勝源成大三厚小岩辻高

得000572000030
阪貴田本野瀬西谷瀬松本本橋

GK F P (審・福田) PT (2) 17

〔繩〕城島良嘉(志)城原原場江
〔沖〕新玉黒高名新宮上内嘉東
得0024442333512

三 重25 (111 | 1013) 23 東 京

〔戦評〕前半、三重は東京の速いツメでリズムに乗れずミスが目立った。東京はミスに乗じて速攻、ポストなどで得点する。しかし、15分過ぎより三重にリズム感が見られるようになり、ロング、ポストなどで加点し1点差で終了する。後半に入り、一進一退の攻防となったが、12分過ぎに三重が3連続PTを決め逃げ切る。東京のGKの好守が光った。(中本)

得0011204411000
東川田 家口原川口田塚達村
〔宇〕吉 清田吉砂山浜大安河

GK F P (審・友奇) PT (5) 23

〔重〕畑本砂松村木上藤屋本口子
〔三〕大橋真三山立尾内粟山田平
得001073226310

準決勝

25 (6) PT (5) 23

〔廣〕島31 (151 | 1315) 28 埼 玉

〔戦評〕前半埼玉は松岡のシュートで先取点、一方広島は高木のロングで同点、15分まで埼玉がリードしていたが、その後西山のカットインが決まり広島が逆転、前半16-15で終了。後半開始早々、広島は甲斐の速攻で2点リードし、15分には西山が決め広島ベースになった。埼玉は、後半あたり出した西山にマンツーマンして広島のリズムを崩し2点差とするが、残り2分に日野が決め広島が突き放した。守ってはGK森田が再三のピンチを好守し、結局31-28で逃げ切った。(大城)

得0071124500008
玉辺内岡田田藤田本迫田馬下
〔埼〕渡矢松大武首中山越菅相宮

GK F P (審・仲里) PT (3) 28

〔鳥〕川田 田山木斐井野田中瀬
〔西〕森 武西高甲藤日堀野一
得000211600714000

三 重30 (171 | 118) 19 沖 縄

〔戦評〕地方に勝る三重が前半より、立木、内藤のミドルシュートや栗屋の速攻で着実に得点を重ねていった。後半に入っても、ミドル速攻と得点を重ねる。これに対し沖縄は、足を使って攻めるが三重の守りを崩せず差をつけられてい

31 (2) PT (3) 28

〔廣〕島31 (151 | 1315) 28 埼 玉

〔戦評〕地方に勝る三重が前半より、立木、内藤のミドルシュートや栗屋の速攻で着実に得点を重ねていった。後半に入っても、ミドル速攻と得点を重ねる。これに対し沖縄は、足を使って攻めるが三重の守りを崩せず差をつけられてい

(50) トヨタ自動車創立50周年 TOYOTA

ニッポンの自動車の新しい物語が始まります。

トヨタのニューグレードセダン NEWカローラ 誕生

つても三重は、大阪の速い出足の
 アイフェンスを攻めあぐむ。大阪
 は丸田、巽川のロングシュートで
 中心に、速攻、ポストなど伸び伸
 びとプレーをし、三重を振り切っ
 た。(古富)

得003423130022
 重田口部藤田木田辺石岡田出
 三深々々々々々々々々々々々々々々
 小山服近石佐池渡常高武東
 (1) 20

G K F P (審・金城)
 阪見田木嶺村田本辺川瀬井
 大増丸鈴赤上松藤渡斐木平
 得00953600314000
 (2) 31

沖 縄 26 (15118) 12 香
 (戦評) 立ち上がり沖縄は、地元
 の大応援を背に固さが見られたが
 10分過ぎあたりから真栄城を中心
 に全員がよく走り着実に得点を重
 ねた。
 一方、香川もよく頑張るが沖縄
 の走りにリズムを乱し、実力を発
 揮することが出来ず沖縄の走り勝

得0000440002020
 川田川藤佐野本野川本崎井
 香松高末河桃下吉谷福笠
 (3) 12

G K F P (審・赤地)
 縄名辺良原堅本城川山村里良
 沖是伊砂平高具山真久喜澤下高
 得00551330303024
 (0) 26

ち。(菅間)
 熊本 29 (1712165) 21 石 川
 (戦評) 熊本が多様な攻撃で快勝
 した。前半10分まで3-1と石川
 も健闘したが、その後、石川のミ
 スを確実に速攻で加点し前半12
 5で終了。後半に入り、石川もデ
 イフェンスの甘くなった熊本に対
 し巧みなポストプレーで連続得点
 し、13-19と4点差までつめよっ
 たが、チャンスを着実にものにし
 た熊本が振り切った。石川の後半
 の健闘が光った。(赤地)

得0054111020242
 川石 戸林 後北下崎(勝田真)
 石 木中 丹川松川 塙川
 北上北
 (6) 21

G K F P (審・菅間)
 本本下口内村田嶋中山本
 岡竹山山江岩横野田中橋
 得002444055135
 (4) 29

山 梨 32 (1616104) 14 鹿 児 島
 (戦評) スピード、パワーに勝る
 山梨は、鳥崎、海道を中心にロン
 グ、速攻と着実に得点し、前半を
 16-4で折り返す。後半に入っ
 て山梨の動きは衰えず、固い守り
 で確実に得点を重ねていった。一
 方、鹿児島も懸命に走るがGK丸
 山の好守にあい、なかなか得点が
 できない。しかし後半は動きがよ
 くなったが前半の得点差がひびき

得0002200100000
 本本下口内村田嶋中山本
 岡竹山山江岩横野田中橋
 熊山山山江岩横野田中橋
 得001004136255
 (1) 27

G K F P (審・野中)
 大 阪 27 (13141212) 24 山 梨
 (戦評) 前半立ち上がりやや固さ
 のある大阪に対して、山梨は海道

涙を飲む。(金城)
 得0000200010434
 鳥石 木本原石房尾元郷口元
 鳥多林
 阿 斜楠宮白当永崎東山藤
 (0) 14

G K F P (審・赤地)
 山梨 山原野崎道沢袋林寺出沼岸
 得00001074132014
 山丸高星嶋海松島小井小山
 野野野野野野野野野野野野
 (7) 32

準決勝
 熊本 27 (189115) 16 沖 縄
 (戦評) 開始5分まで両GKの好
 守に無得点、6分過ぎ熊本2点先
 取、10分沖縄・高良ゲット、その
 後、前半終了までGKの好守で白
 熱した試合であった。後半、波に
 乗り出した熊本の勝ち。しかし、
 沖縄もよく頑張った。(菅間)

得00022201100000
 縄名辺良原堅本城川山村里良
 沖是伊砂平高具山真久喜澤下高
 得00222201100000
 縄名辺良原堅本城川山村里良
 沖是伊砂平高具山真久喜澤下高
 (5) 16

G K F P (審・伊藤)
 本本下口内村田嶋中山本
 岡竹山山江岩横野田中橋
 熊山山山江岩横野田中橋
 得001004136255
 (1) 27

G K F P (審・菅間)
 山 梨 31 (1714198) 17 沖 縄
 (戦評) 前半、山梨は長身を生か
 しステップ、ミドルシュートで得
 点し前半14-8で終了。後半に入
 つても山梨は、ミドル、サイドシ
 ュートを決める。一方、沖縄も速
 攻、ポストシュートをするが、山
 梨のGK高原の再三の好守にあい
 山梨が勝利を得る。(大城)

のジャンプシュート、速攻を折り
 混ぜて幸先のよいスタートを切り
 15分頃まで優位に試合を進めたが
 大阪もシュートカットからたて続
 けに4本の速攻を生かし優位にた
 ち、丸田、鈴木、菅野のジャンプシ
 ュートがよく決まり14-12で前半を
 終了。後半にはいっても、大阪は
 丸田のロングシュートにポスト、
 速攻をからませ、食い下がる山梨
 を27-24で振り切った。大阪・丸
 田、山梨・海道両エースの活躍が
 目立った。(野中)

得0000172101011
 山梨 山原野崎道沢袋林寺出沼岸
 得0000172101011
 山梨 山原野崎道沢袋林寺出沼岸
 (山丸高星嶋海松島小井小山
 野野野野野野野野野野野野
 5 24

◆3位決定戦
 得0084244050400
 大 高増丸鈴赤上松藤渡斐木平
 得0084244050400
 大 高増丸鈴赤上松藤渡斐木平
 (3) 27

G K F P (審・菅間)
 阪見田木嶺村田本辺川瀬井
 大増丸鈴赤上松藤渡斐木平
 得00953600314000
 (2) 31

G K F P (審・菅間)
 本本下口内村田嶋中山本
 岡竹山山江岩横野田中橋
 熊山山山江岩横野田中橋
 得001004136255
 (1) 27

各種記念品 バッチ・メダル・優勝カップ・楯 トロフィー・ネクタイ止・金銀製品 製造販売



電話 東京(03)973-0741(代) 東京都板橋区中丸町49-3
 〒173 FAX. 東京(03)973-0674

得003614100101
 繩名辺良原志本城川山村里良
 (沖)伊砂平高具山真石喜澤下高

G K F P (審・大上原)

梨山原野崎道沢袋林寺出岸
 得00096601234
 (山)丸高星嶋海松島小井山

◆決勝

大 阪 28 (1216 | 89) 17 熊 本

〔戦評〕立ち上がり、熊本に固さが見られ、ディフェンスの動きが鈍く、大阪のカットインシュートがつぎつぎに決まり大阪のペース

少年男子

◆1回戦

大 阪 (159 | 1010) 20 秋 田

〔戦評〕前半立ち上がり、両チー
 (選抜) 24 (湯沢高)
 得002822004020
 田嶋 平田上岸田本(磯)田
 (秋)近 菅 赤八井山鶴坂高柴

G K F P (審・宮高良)

〔戦評〕立ち上がり、熊本に固さが見られ、ディフェンスの動きが鈍く、大阪のカットインシュートがつぎつぎに決まり大阪のペース

でゲーム展開、16-9で前半を終了。
 後半は、大阪のエース丸田をマークしてゆさぶりをかけ、ディフェンスもよくなり一進一退のゲーム展開。しかし前半の得点差が大きく、最後までスピードの落ちない大阪が勝つ。(大城)

G K F P (審・友寄)

得000222030044
 本 本 下 口 内 口 村 田 嶋 中 山 本
 (熊)岡竹山山山岩横野野田中橋

大 阪 28 (2) P T 0 17

〔戦評〕開始30秒、愛知がPTで1点先取するが石川もすぐに反撃同点。19分過ぎまでシーズンゲームの展開、しかし20分過ぎから愛知の速攻が決まり出し、着々と前半は16-11と愛知リードで終わる。後半も愛知が速攻で得点を加えるが、石川はリズムを失い得点が

〔戦評〕前半10分まで両チーム共ミスが多く、得点が動かない状態が続くが、守りを堅めて落ち着いて得点を重ねる沖繩が13-8とリードして前半を終了した。
 後半に入ると、沖繩のシュート

が次々に決まり出し、点差が開いていった。これに対し、愛媛も両サイドが攻めの決め手となり対抗するが、守りの堅さで沖繩が勝った試合であった。(高良)

G K F P (審・森橋)

得0051100041016
 媛 家 村 田 藤 野 永 川 浦 方 井 森
 (愛)清川岡加日安砂松武岡大 嵐

大 阪 26 (1313 | 810) 18 福 岡

〔戦評〕立ち上がり、熊本に固さが見られ、ディフェンスの動きが鈍く、大阪のカットインシュートがつぎつぎに決まり大阪のペース

〔戦評〕開始30秒、愛知がPTで1点先取するが石川もすぐに反撃同点。19分過ぎまでシーズンゲームの展開、しかし20分過ぎから愛知の速攻が決まり出し、着々と前半は16-11と愛知リードで終わる。後半も愛知が速攻で得点を加えるが、石川はリズムを失い得点が

〔戦評〕前半10分まで両チーム共ミスが多く、得点が動かない状態が続くが、守りを堅めて落ち着いて得点を重ねる沖繩が13-8とリードして前半を終了した。
 後半に入ると、沖繩のシュート

続かず、結局34-17と大差で勝負がついた。(高橋)

G K F P (審・宮高良)

得00212121731000
 川 田 口 井 端 知 見 村 田 上 本 原
 (石)池木永川江松中福前竹村河

大 阪 26 (1313 | 810) 18 福 岡

〔戦評〕立ち上がり、熊本に固さが見られ、ディフェンスの動きが鈍く、大阪のカットインシュートがつぎつぎに決まり大阪のペース

〔戦評〕開始30秒、愛知がPTで1点先取するが石川もすぐに反撃同点。19分過ぎまでシーズンゲームの展開、しかし20分過ぎから愛知の速攻が決まり出し、着々と前半は16-11と愛知リードで終わる。後半も愛知が速攻で得点を加えるが、石川はリズムを失い得点が

〔戦評〕前半10分まで両チーム共ミスが多く、得点が動かない状態が続くが、守りを堅めて落ち着いて得点を重ねる沖繩が13-8とリードして前半を終了した。
 後半に入ると、沖繩のシュート

◆準々決勝

大 阪 26 (1313 | 810) 18 福 岡

〔戦評〕前半立ち上がりから両チーム共早い動きからのカットイン、ポストプレーと多彩な攻撃を見せ、20分まで9-9と一進一退の攻防を展開、20分過ぎ、福岡のバスマスのすきをつき、大阪・島平の巧みなフライントプレーで3点差をつけて前半を終了。
 後半に入るとすぐ大阪は島平、平山の得点で5点差とし優位にたつた。福岡は攻守に精銳がなく、シュートミスが目立ち、点差を縮めることができなかつた。(野中)

G K F P (審・大村通)

得00604040220
 岡 崎 田 野 嶋 元 田 藤 永 井 上 野
 (福)篠久平東杉久後安福井平

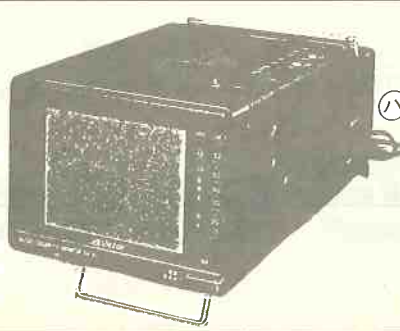
〔戦評〕立ち上がり、熊本に固さが見られ、ディフェンスの動きが鈍く、大阪のカットインシュートがつぎつぎに決まり大阪のペース

〔戦評〕前半10分まで両チーム共ミスが多く、得点が動かない状態が続くが、守りを堅めて落ち着いて得点を重ねる沖繩が13-8とリードして前半を終了した。
 後半に入ると、沖繩のシュート



今日のヒーローは
 背番号6。

ヒーローになる選手は、どこか輝いている。
 新発売のコンパクトカラー「6inch Magazine」も、ファッションブルでスポーティで、感度バツグンのパーソナルタイプ。輝いているナー。



ハンドボールを満たす

Magazine
 6inch

6型コンパクトカラーテレビ
 CX-60
 標準価格79,800円(AC電源付)

カットインで対抗、シーソーゲームとなった。

後半は、千葉・本間がサイドシュートやカットインからのシュートを決めずに逆転、榎のポストプレーで主導権を握る。岡山はポストプレーのパスミスが目立ったが、近藤のサイドシュートで反撃するが、千葉・藤本の活躍で逃げ切る。(切通)

得0 0 5 0 4 5 0 2 2 1 0 0
山井 藤本(柳)田島本辺永戸
岡堀 近坂園園吉中山渡吉米

G K F P (審・伊藤)

得0 0 6 3 0 2 3 0 0 0 6 2
葉林 山 榎 間山坂島入沢下元伯
千小 栗 本横有福坂永宮藤佐

沖 縄 21 (1110117) 14 北海道

〔戦評〕前半6分まで2-1と両チーム共に決め手を欠く攻撃であったが、8分、沖縄は速攻を含む4連続得点をあげ、ゲームの主導

得0 0 1 1 6 0 1 0 2 3 0 0
北海道 藤 部保橋美藤橋野島谷々
北佐 建久高宇伊三駒守紅佐

G K F P (審・切通)

得0 0 1 0 5 1 0 3 0 0 9 2 0
〔沖縄〕良謝地井吉嘉田浜原念島根
〔高我〕下嶺又比長吉上知高仲

権を握った。北海道は、高橋を中心にカットイン、コンビプレーで反撃し、前半は3点差で終った。

前半の残り5分から10分間得点のなかった沖縄は、知念が3連続得点しムードを盛り上げた。その後両チーム共一進一退の攻防をくり返し、そのまま沖縄が逃げ切った。(伊藤)

愛知 34 (5 3 12 14 1 1 10 16) 29 熊本 (熊本市商)

〔戦評〕熊本は立ち上がり自分のペースをつかめず、15分で10-8と愛知ペース。しかし途中から、長身・岩本のロングシュート、GK宮本からの速攻などで前半、熊本の2点リードで終了。

後半、愛知・野田、内田の5連続得点で逆に4点をリード、残り1分30秒で2点リード。しかし、熊本が速攻で2点を決め延長へ。延長戦は、愛知・下蔵のロング、松野のサイドシュートで引き離す。(熊本の速攻ミスとノーマークの

得0 0 2 6 6 0 4 4 7 0 0 0
熊本 本永口萬村田塘田本本星口
〔熊本〕宮増樋阿中改浦鶴岩宮赤門

G K F P (審・伊藤)

得0 0 5 1 1 0 1 7 0 6 0 4 0
〔愛知〕佐 田田村田野木蔵村浦島
〔若林〕野内鈴鎌松島大二杉寺

はずしが惜しまれるゲームであった。(大村)

◆準決勝

大 阪 19 (118111) 17 千葉

立ち上がりは、大阪が先行する形で進み、千葉も福島のロングで応戦し15分に6-6と同点にしたが、その後動きが止まり、大阪が速攻を決めて前半を8-6で終る。後半に入っても一進一退の攻防が続き、動きの良くなった千葉が5連続得点し、8分に11-10と逆に1点リードを奪った。その後もシーソーゲームがつづいたが、23分大阪が2連続速攻を決め、2点差で勝利をものにした。(赤地)

得0 0 1 0 0 4 5 1 0 0 3 3
葉林 山 榎 間山坂島入沢下元伯
千小 栗 本横有福坂永宮藤佐

〔千小栗〕本横有福坂永宮藤佐

得0 0 0 6 1 0 1 0 9 2 0 0 0
〔大阪〕島屋田井田坊坂平山 爪上
〔福大〕山白有伊小島平 奥 橋井

G K F P (審・大南)

得0 0 1 0 5 1 0 3 0 0 1 4 4
〔沖縄〕地元の大声援を受けて沖縄が、吉浜のカットインシュートなどで波に乗る。一方愛知も粘り

を見せ、見応えのあるゲーム展開で前半を終了。

後半も一進一退の素晴らしいプレーを見せたが、結局沖縄が3点差で逃げ切った。(大城)

得0 0 5 5 0 2 1 0 7 1 1 1 0
〔佐〕田田村田野木蔵村浦島
〔若林〕野内鈴鎌松島大二杉寺

得0 0 7 0 3 3 0 3 0 1 4 4
〔沖縄〕良謝地井吉嘉田浜原念島根
〔高我〕下嶺又比長吉上知高仲

◆3位決定戦

千 葉 25 (13121107) 17 愛知

〔戦評〕前半立ち上がりから激しい点の取り合いで試合が展開したが、15分を過ぎた頃から千葉は相手のミスに乗じて得点を重ね、5点差で前半を終了。後半にはいって、愛知は一時3点差まで追い上げたが、千葉の攻

得0 0 2 1 0 0 0 1 0 6 1 6 0
〔岩佐〕野内鈴鎌松島大二松寺
〔若林〕田田村田野木蔵村浦島

G K F P (審・宮元)

得0 0 6 1 0 6 6 0 2 0 2 2 2
〔千小栗〕本横有福坂永宮藤佐
〔葉林〕山 榎 間山坂島入沢下元伯

“まごころのおつきあい”が私たちのモットーです。



あなたの銀行

北國銀行

本店 石川県金沢市下堤町
店舗 石川・富山・福井
東京・大阪・名古屋
京都・130か店



沖縄を初優勝に導いた
エース川比嘉晴美選手

分でまた2点差と追いつがったが、自チームの凡ミスで速攻で連続ゲットされ、19-17で石川が勝利をつかんだ。(福田)

得点	0	0	1	2	4	5	0	3	1	0	1	0
選手	幡城	田村	山居	野田	佐	柴智	賀	森	石木	鋒	藤	矢山
所属	川	川	園	園	園	園	園	園	園	園	園	園

沖縄 21 (813136) 19 宮 城

〔戦評〕宮城は沖縄の比嘉をマンツーマンで守が、沖縄はポスト、速攻、ミドルシュートと多彩な攻撃で得点を重ねる。一方宮城も足を生かし、サイド、ポストシュートを決め、前半13-6と沖縄のリードで終了する。後半に入ると、

沖縄の足がとまり、宮城が5連続得点を入れるが前半の失点が多く、沖縄が逃げ切った。(大城)

得点	0	0	3	2	0	0	6	3	0	0	0	5
選手	山	野	木	井	藤	嶋	島	倉	友	沼	海	川
所属	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山

山 口 22 (101217) 15 宮 崎

〔戦評〕立ち上がり山口がPTで先行し、以後速攻、ポストで加点する。これに対し宮崎は、金子のロングシュートを中心に攻撃する。前半は山口の4点リードで終了。後半に入り、宮崎は山口・福成寺にマンツーマンをかけ、リズムを崩そうとするが、逆に山口は石村のミ

ドル、福田のカットインを中心に攻撃、また相手のミスをついて速攻により加点し勝利する。(中本)

得点	0	0	1	1	0	2	0	0	1	0	0	1	0
選手	崎	田	橋	坂	子	郷	藤	高	田	藤	村	佐	野
所属	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎	崎

沖縄 18 (117197) 16 山 口

〔戦評〕前半、山口のペースで試合が始まり、沖縄が比嘉を中心に盛り返し同点で終了。後半、沖縄・比嘉のシュートが決まり出し、沖縄のペース。しかし山口は、その比嘉を完全にマークし、沖縄のミスから山口が得点を重ね再び同点。試合終了前、沖縄・古田の連続シュートで試合を

◆準決勝

決めた。(大城)

得点	0	0	1	3	5	3	4	3	0	0	0	0
選手	石	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川	川
所属	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石	石

石川 26 (917109) 19 東 京

〔戦評〕前半、パスミスの多い東京に対し石川は森のロングを中心にポスト、サイドと多彩な攻撃で着実に加点し、前半を17-9で折り返す。後半に入り、ディフェンスを固めた東京は、得意の速攻が始めリズムをつかんだが、石川も少ないチャンスを実に得点に結びつけ、26-19で勝利を握った。(森山)

◆3位決定戦

得点

得点	0	0	2	2	7	2	2	6	0	0	0	0
選手	京	井	口	藤	吉	子	村	印	鴻	橋	村	本
所属	京	京	京	京	京	京	京	京	京	京	京	京

沖縄 24 (101417) 13 石 川

〔戦評〕立ち上がり沖縄のエース比嘉(晴)の意表をつくスタンディングシュート、比嘉(恵)のカットインシュートがたて続けに決まり波に乗る。石川も反撃にできるが、沖縄のスピードに遅れるゲーム展開。後半、沖縄は益々スピードのり、早いボール回しや速攻などで加点、比嘉(晴)と比嘉(恵)で18得点をあげ、一方的にリード、24-13で沖縄が勝つ。(大城)

◆決勝

得点

得点	0	0	0	7	2	0	2	1	1	4	1	1	0	0	1	0
選手	口	嶋	林	川	本	田	村	寺	辰	重	村	林	村	成	成	成
所属	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口	口

沖縄 24 (101417) 13 石 川

〔戦評〕開始から東京は全員の速い動きで得点を重ね、これに対し山口は、福成寺を中心にしたセッタープレーで追い上げ、同点で前半を終了した。後半も22分まで一進一退の攻防をくり返したが、22、23分に山口・石村のロングシュート、福成寺のポストプレーで得点し逃げ切った。(高良)

第6回女子ジュニア世界選手権

ソ連が優勝

日本は健闘及ばず最下位に

第6回女子ジュニア世界選手権大会は、10月23日から11月1日まで、デンマークにて開催された。

世界から15カ国が参加したこの大会、ソ連が地元デンマークを降して優勝。五連覇を飾った。日本は健闘及ばず最下位に終わった。

〔順位〕

- ① ソ連
- ② デンマーク
- ③ 東ドイツ
- ④ 韓国
- ⑤ ユーゴスラビア
- ⑥ チェコスロバキア
- ⑦ 中国
- ⑧ ノルウェー
- ⑨ スウェーデン
- ⑩ スペイン
- ⑪ 西ドイツ
- ⑫ ポーランド
- ⑬ ナイジェリア
- ⑭ 日本

〔戦績〕

▼第1戦（10月23日）

中国 32 [161|16|17] 16日 本

〔個人得点〕市来6、武津3、大林2、小林2、貞本1、小池1、白鳥1。

●：激しいDFと個人技の差が日本チームのミスを誘い完敗。日本側は激しい積極的DFで守り固めようと試みたが、個人技に優れる中国選手に守りを破られ、失点はミスからの速攻によるものが多かった。

▼第2戦（10月24日）

東ドイツ 33 [151|18|19] 15日 本

〔個人得点〕市来5、白鳥5、篠原2、大林1、武津、小池1。

●：185cmの選手を筆頭に大型チームの東ドイツを相手に、前日同様、果敢な攻撃、積極的DFを試みたが、優勝候補東ドイツの前には歯が立たなかった。厳しいディフェンスチェックとスピードにミスを誘発し、速攻による失点が多く出してしまう。また、185cmの高さからのロングシュートに届かない。壁の厚さを感じる。

▼第3戦（10月25日）

スウェーデン 25 [131|12|9] 21日 本

〔個人得点〕市来10、小池4、大林3、貞本2、篠原2、武津1、

白鳥1。

●：このゲームを落とすと「なぐさめラウンド」行きになるため、全員必勝の態勢で臨んだ。並々ならぬ力を持っているスウェーデンに前半は同点。攻守に歯車がかみ合い互角の闘い。しかし、残り7分ぐらいいまで同点機に痛いノーマクミスを連続、勝機を逸する。惜敗である。

結果として予選リーグ全敗に終わり、13、16位争いの「なぐさめラウンド」に決定。3チームとの対戦により反省として、絶対的なものとして体格の差が明白であり、それにも増して、スピード、パワーが豊かであり、それが最大の要因であろう。今回の遠征メンバーに加わる有資格者として170cm以上のプレーヤーの協力が得られなかったことに悔いが残る。

▼第4戦（10月26日）

ナイジェリア 26 [161|10|12] 23日 本

〔個人得点〕市来8、武津3、森田3、小池3、川井2、白鳥2。

●：予選リーグ敗退の後遺症が残っており、緊張に欠けるゲーム展開になってしまった。180cmの大型アタッカーを有するナイジェリア

は、この選手を中心としてスピードのある展開力を見せ、執ようにマークしたにもかかわらず、1人に13失点も許したことが敗因となっていました。

▼最終戦（10月30日）

ポーランド 30 [151|15|14] 23日 本

〔個人得点〕市来9、白鳥7、貞本2、小林2、武津2、大林1。

●：今大会の最終戦。ポーランドはBグループの4位とはいえ混戦のBグループはレベルが高く、苦戦が予想されたが、内容のあるゲームであった。

〔戦評はすべて鈴木孝八郎コーチの報告よりまとめました〕

選手たちの感想文から

白鳥 貴子

デンマークで開催された世界選手権。この試合は、ジュニア最大の試合。これに出場できただけでもすごくうれしかった。どのくらい日本のハンドボール、私たちのハンドボールが通用するのか、不安もあるけれども思いきりためしてみたい。目標は、予選突破。絶対に本戦にいきたい。その思いを胸に、10月23日いよいよ予選が

くつろぎ曜日は、手づくりを

- ファンシーコースター
- 化粧ケープ
- エプロン
- テレフォンカバー
- ラケットカバー
- クッション

楽しみます。

ライフステージをおしゃれに彩る 小物たちを、ミシンでつくってみませんか？

the MISIN
コンピューターミシンH2L-7700型



東京重機工業株式会社 〒182 東京都調布市国領町8-2-1 ☎03(480)1111

開始された。

私たちは、他の国よりも背が低く、小さいというハンデイをどうして乗り越えるかが問題でした。

小さい者が、背の高い外人を相手にどういった方法で点を取るのか、予想していたとは違い、感覚的に慣れないため、とまどってしまいました。その上、どのチームもスピードがあり、ガンガンとせまってくる迫力は、とてもすぐく圧倒されます。足や手の長さの違いは、慣れない私たちには、守るのにも難

かしく、攻めるとなると、一段と難かしくなります。思いもよらぬところに手が出てきたり、私たちが上からシュートを打たれたり、特にキーパーともなると、本当にスピードがあつて、ディフェンスをかわして、ゴールポストの隅を

打たないと、なかなか入りません。そういうことが分かっていながらも、全敗という結果で終わりました。本戦について、ソビエトや他のチームともつとつと試合をしてみた

たかっただけですが、世界の壁は厚く、まだまだ私たちの力ではダメだということが分かりました。このこという時の粘り、ミスをしないう、でもそれをカバーし合つたりという、自分たちが見習わなければいけない欠けている点が、まだまだと見せられた気がします。

世界のハンドボールを見て、まだまだハンドの面白さを知らない

ような気がします。これから、この経験を生かして、またいつか、外人と試合ができればいいなと思います。

梅津 直美

10月23日から11月1日まで、デンマークで行なわれた世界選手権に参加して、ジュニアのメンバーとして最高の大会、そして私にとって最後の大会でもあったので、三つの目標をたてて臨みました。

一つは、本戦に出場するなぐさめラウンドには行かない。二つ目は、キャプテンとしてチームをまとめ、試合にはベストの状態で見めるようなムード作りをする。最後に、悔いの残らないプレーをする、という事でした。

予選の対中国戦では、自分たちのミスから相手に得点を許し、自滅という形。2戦目対東ドイツ、初戦の堅さもとれ大きなDFにも善戦しましたが、敗れ、予選最終戦対スウェーデン。この試合に勝

てば本ラウンド、負ければなぐさめラウンドという事で、多少のプレッシャーを持って臨みました。前半から後半の中盤まで、自分たちのミスもカバーしあい、良いゲーム展開となっていました。自分たちのペースがつかめず相手に

連続をされてしまいました。この大会で、私の一番印象が深いのは、最終戦のポーランド戦で

す。今までの試合の中でとても動きが良く負けはしましたが、少しは自分たちの力を出せたような気がしました。

世界選手権を経験して、世界の壁の厚さを感じました。体格では、出場チームのGKの高さには驚きました。170以下のプレーヤーはほとんどいなく、高さ以外の反応の良さにも驚きました。体力的、精神的な面でのあまりにも差を感じました。この差を少しでも縮めて、日本でのプレーにこの経験をいかしていきたいと思います。

貴重な経験をありがとうございます。

大林 恵子

本ラウンドに行く前に、ABC Dグループの予選がありました。日本はCグループで、中国、東ドイツ、スウェーデン、日本、このようなグループになっていました。

予選リーグの全試合で言える事は、自分たちのミスが多い、ミスから相手チームに速攻に行かれてしまう。守るディフェンスではなく攻めるディフェンスができなかった事、など自分たちの持っている力が全部出されていないまま予選リーグが終わってしまった。

本ラウンドではなく、なぐさめラウンドでは、ナイジェリアと、ポーランドと行ないました。ナイジェリアとの試合は、メンバーか

ら外れてしまい、出ていないのですが、外から見ているいつもとみんな違うように見えた。自分たちで自滅するようなプレーをしていて、私に思いました。私たちがメンバーに入っていたらきつと同じ自滅をしていくかもしれない。これだけは次の試合では、避けよう、避けなければいけないと次の試合にかけた。

自滅した試合ではなく、今度こめ自分たちの本当のプレーが出たと思うポーランドに対してこのような試合ができて、もつと前に何故出せなかったのでしょうか、私たちが甘かったのでしょうか。しかし、最後に良い試合ができてうれしかったです。

私はこれが最後の遠征でした。ジュニアとして最後の試合でしたが、苦しい時も悲しい時もやめた自分のチームに帰りたいと思つた事も何度もありました。しかし、先生方について来て良かったです。こんないい勉強になったのは今までになかった事です。しっかりと忘れたいと思いません。この2年間、本当にありがとうございます。

市来 未央

10月23日から11月1日まで世界選手権大会がデンマークで行なわれました。この大会は、今までの大会とは違って経験のためというだけではなく、勝つて目的を果た

実績と信頼の公式試合球

イリマボール



ALLOVER THE WORLD

IRUMA

ハンドボール

入間川ゴム株式会社

東京・埼玉・大阪・名古屋



日本ハンドボール協会検定球 HL-3, HL-2

すという事を目標に大会に臨みま
した。何試合かの中で色々な内容
があり、私たちが勝負に対して甘
い事など感じたし、思い切つてプ
レーする事が出来ない事など思い
ました。自分たちの気持ちで、勝
つというものがあればそれなりの
行動に出るだろうと思いますが、
その行動がなかなか出せなかった
ように思います。外国の人たちは
感情をそのまま出していたので特
にそう思いました。日本は外国の
人たちと比べて感情を出さないの
で、他の人たちにはおとなしく見
られていたと思います。

私が一番印象に残ったのは、ス
ウェーデンとの試合で、この試合
に勝たないと本戦に行けないとい
う事なので一生懸命張りました。
前半から後半の中盤まで、1点を
争うゲーム展開になりましたが、
日本の攻撃が上手く行かなくなり、
得点がストップし、ディフェンス
で守り切れなかったため相手に連
続得点を許したので、得点に差を
つけられて追いつく事が出来ず、
涙を飲む結果となりました。

武津 優子

「本戦ラウンドでゲームを…」

の悲願もむなしく、15位という結
果に終わった。チームを編成して1
年半。数回の合宿、遠征を重ね今
大会に到り、何度となく他国と戦
う日本チームの姿を想像し、頭
中をめぐらしたところか。

1週間の国内合宿を終え、不安
と闘志を胸に飛行機に乗り込んだ。
『今まで取り組んで来た事を出
せばいいんだ。思い切りやろう』
と自分自身に言い聞かせたもの
の緊張した。

第1戦目の中国戦。ダブルスコ
アで負けた。初戦ということもあ
り、レフェリーの笛にもとまどい、
ミスが多かった。

東ドイツ戦。前に立ちふさがる
高い壁。高打点からのシュート。
これぞ、まさしく、「小さい日本
人」を感じたゲームだった。必死
に守り、走つたのにあつけない点
差だった。

予選ラウンドの最終戦。対スウ
エーデン。2戦落としていた私た
ちは、気合いを入れ直しゲームに
臨んだ。セット、速攻、アタック
DFとうまく展開していたものの、
なかなか日本チームのペースに出
来ず、同点で折り返した。後半に
入り、退場が増え、こころ一発とい
う所で得点に結びつかず、1点、
2点とリードされていった。

3試合を終えて、1勝も出来な
かった事はすごい衝撃であり、世
界をまざまざと知らされたという
感じだった。

その後の順位決定ラウンドでも
奮わず、押せ押せのムードにあり
ながら、後半に逆転されて、ゲー
ムセットという形だった。なぜ勝
てないのか考える。ただ単に実力
が下だったというだけなのかとも
思う。しかし、終始リードされて
いたゲーム展開だったわけではな
い。国際ゲームの経験が他国の選
手に比べて、はるかに少ない。こ
れもレフェリーの笛の感覚や、パ
スにせよ手が長いと、いつも通
るものがカットされたり、日常そ
ういう環境の中でハンドボールを
している人たちとの違いを感じた。

世界選手権に参加して…世界は
広く、強いという事だった。
私は日の丸をつけてコートに立
てた誇りと、自分たちの目標を完
全にシャットアウトされたことを
忘れずに、これからの生活に生か
していききたいと思う。

森田 初美

私は10月23日から11月1日まで
デンマークで行なわれた第6回世
界女子ジュニア選手権に参加し、
世界と日本との違い、またその
国々の特徴など、たくさん勉強
させてもらいました。日本を含め
対戦した中国、東ドイツ、スウェ
ーデン、ナイジェリア、ポーラン
ドと、どの国もやはり世界選手権
という名前に恥じないすばらしい
チームばかりでした。

国々ごとに個々の特徴を生かし
た攻撃、ディフェンスで、中でも
一番印象強いのは優勝候補の一チ
ームである東ドイツです。ディフ
ェンスも高く、大きい体で一人一
人がよく動き、攻撃もとても多彩
で見ているすばらしかったです。
中でも45度をやっていた昨季の東
ドイツリーグ得点王であるキャッ
ツラーを中心としたはずしからセ
ンターがディフェンスを引きつけ
中に入り、クロスでエースである
キャッツラーがシュートというこ
の攻撃は、やはり迫力がありました。

そして東ドイツと同じ最優秀
補のソ連との対戦は見ものでした。
どちらも体格でもひけをとらず、
すばらしいゲーム内容でした。両
方とも自分たちのプレーを思い切
り出していました。前半ではどち
らかかという挑戦者である東ドイ
ツにソ連も押されがみでミスがあ
り、どちらも取つたり、取られた
りとおもしろい展開でした。この
試合を見て、ただどの試合を見て
も強く感じた事はボールへの執着
心です。すごいことですね。キャ
ツチミス、パスミスのボール、ま
た、ゴールからはねかえってきた
ボールなど、どの選手も目の色で
変え、「自分が」という気持ちで
取りに行きます。私も客観的に見
ていて、これが迫力を作るのだと
感じました。外国の人たちと日本
人というのは少し違うということ



創業69年

中村荷役運輸株式会社

代表取締役社長 中村 昭光

本社 〒108 東京都港区芝浦 2-3-39

電話 東京 (03) 451-4161(代)

も感じました。もちろん、日本の選手もフットボールを大切にするとすることは外国の人と同じです。でも違う所は、感情を表に出さない所です。「私が」という気持ちが外人と比べ伝わるのがすごく少ないと思います。自分がプレーをしているのもこういう迫力が無いと思います。

まず、日本人が他の国と試合をする時に体格では勝つことができず、その反発がないと思います。そんな中で、日本が外国に勝つためにはやはり負けたくないという気迫と執着心が大切だと思います。このことを忘れずがんばりたいと思います。

小池美由紀

10月21日、午後1時15分に日本を出発して11時間半、日本チームはデンマークに着きました。デンマークに着くと、「とうとう着いてしまった。今から世界を相手に戦わないといけないんだな」という感じで、期待と不安でいっぱいでした。

この大会は、16チームが参加します、四つのグループに分かれて試合をし、次に、各グループの上位3チーム同士で総当たりの試合をし、順位を決めるようになっていました。日本はCグループで、その他、東ドイツ、中国、スウェーデンがいました。とにかく1勝

すればいいということで、目標をスウェーデン戦に決めました。

予選リーグの1試合目は中国とでした。初戦ということで緊張したのか、みんな固く、最初からミスが多く、そのままズルズルいって結局32対16と負けてしまいました。全試合通して、この試合ほどミスの多い試合はなかったと思います。あれればあせるほどミスが出て連鎖反応を起こす。今思えば最初の試合のつまづきがあとあとまで響いたような気がします。

第2戦は東ドイツ。このチームには日本とは比べものにならない高さがあるため、上からは攻められず、DFの間からとか素早い動きで対抗しました。が、相変わらずミスが多く33対15でした。ミスがなければもっと善戦できたのではないかと思います。

そして予選リーグの最終スウェーデン戦です。これには勝つて次へ駒を進めたいと思っていただけに、みんな最初から気合が入っていました。試合の方も一進一退で割といいペースで進み、前半は12対12で終わりました。後半も同じようなペースで途中まで進み、このまま行けば……と思っただけですが、最後の方で相手にもって行かれ25対21でした。終わったあとは気が抜けたというか落ち込みました。せっかくいいペースで自分たちのプレーができていたのに……と思

うとすごく悔やまれました。

予選リーグで最下位だった日本は、本戦ラウンドに出場することができず、結局最下位に終わってしまった。

この大会でジュニアの活動は終わったんですが、最後の結果が結果だけに、この2年間何のために頑張ってきたんだらうと思うと少し情けなかつたです。こういう大きな大会になればなるほど、ほんの小さなミスでも命取りになるということをわかってはいたものものあらためて痛感しました。

結果は悪かつたけど、参加できたこの世界選手権。そしてジュニアの一員としての活動は、自分にとって本当に幸運だったと思います。いろいろなことがありました。が、今となってはいい思い出です。

小松崎浩子

10月23日から11月1日まで、デンマークで開かれた世界選手権に参加しました。メンバーに選ばれた時はビックリしたし、まさか本

当に参加できるなんて思っていなかったもので、うれいような不思議な気持ちでした。ただただ運が良かったとしか言いようがありませんでした。

23日から試合が行なわれ、1試合目は中国、2試合目が東ドイツ、3試合目がスウェーデンと予選が始まり、1試合目の中国戦は、緊張

張していたのかミスが目立ち、相手にペースをつかまれ、後半にな

ってからやっと我がチームの本来の力を発揮してきたがすでに遅く、32対16に終わり、敗れてしまいました。2試合目東ドイツ戦は、私も出場したのですが、コートに入ると相手がとても大きく思えてとまどうばかりで、後半になってから我に返りプレーすることができました。そして予選最後のスウェーデン戦。前半からムードもよく、良いゲーム展開でした。12対12で前半を終わり、後半中盤でミスが多くなつたが追い上げ、結局25対21で残念ながら負けてしまいました。

27日にナイジェリア戦が行なわれ、完全に相手のペースで取られてのゲームで、26対23の結果で終わり、最終戦のポーランドとの試合は、大会最後の試合でもあり、気合の入った良いゲームでしたが負けてしまい日本は15位に終わりました。

今回の遠征に参加できたことは、高校生活の中でハンドボールを通じて最高の思い出にすることができました。また、世界のプレーを実際に見て勉強でき、この経験が今後の自分に絶対プラスになったと思います。

今回遠征に参加した全選手が感想文を寄せてくれましたが、誌面の都合で全部は載せられませんでした。悪しからず。

滋養強壯剤

薬用人参・牛黄・大蒜製剤

キョーレオピン®

レオピン® ファイブ

効能・効果

○滋養強壯 ○志弱体質 ○肉体的疲労・病後の体力低下・胃腸障害・栄養障害・発熱性・油性尿患・妊娠授乳期などの場合の栄養補給



湧永製薬株式会社

〒553 大阪市福島区福島3丁目1番39号

〒101 東京都千代田区三崎町1丁目3番12号

☎06(458)8901(代)

☎03(293)3351(代)

オリンピックに出場した 女子ハンドボール選手の体力の 現状と今後の課題について

阿部徳之助 (自治医科大学)
竹内正雄 (星薬科大学)
西山逸成 (防衛大学)

1. はじめに

日本体育協会スポーツ科学研究所は、JOC、各競技団体の協力を得て、オリンピックに出場する選手たちの日本代表選手につき体力測定と健康診断の結果を報告している。⁽¹⁾⁽²⁾

ハンドボール競技では、男子はミュンヘン(1972)以来連続出場し、女子はモントリオール(1976)、モスクワ(1980、不参加)大会に参加した。

これらの測定報告の資料をもとに、今後の体力を高めるための具体的な強化指導方策を検討・実施する改善の一助としたい。

2. 方法

(イ)対象 オリンピックに出場する日本代表選手

(ロ)日時 オリンピック大会出場、またはアジア大会出場の約1ヶ月から3ヶ月前に測定実施している。

(ハ)場所 日本体育協会スポーツ科学研究所(1976、1980)、小松市(1985)、武庫川大学(1987)。

(ニ)測定項目

体格：身長、体重。

機能：背筋力、握力、反復横とび、垂直とび、最大酸素摂取量

3. 結果

図1 女子オリンピック選手の体力(1976~1987)を示した。

身長についてみると、モントリオール(1976)162.5±4.5cm、モスクワ(1980)165.0±6.0cm、世界選手権(1976)167.5±4.3cm、ソウル・オリンピック予選(1987)167.5±5.5cmの値であった。モントリオール初出場の11年前と今回のソウル予選とは、約5cmほど高くなり、統計的に有意な差を示した。(P<0.05)。

体重では、徐々に増加をし、モントリオールよりも今回は4kg増加している。

<体力>

握力(右)についてみると、モントリオール38.0±5.0kgで、モスクワ39.5±4.5kg、世界選手権38.0±4.0kg、ソウル予選40.0±5.5kgとほとんど同じ値である。

また、握力(左)でも34kgから36kgの範囲にあり、増加はない。

背筋力では、モントリオール121±14.0kg、モスクワ116±13.0kg、世界選手権141.0±21.0kgと増加したが、ソウル予選では112.0±21.0kgで約30kg減少し、統計的に有意に低下している。(P<0.01)。

敏捷性をみる反復横とびでは、モントリオール40.0±4.0回、モスクワ43.0±4.0回、世界選手権51.0±4.0回で徐々に増加している。

次に垂直とびをみると、モントリオール48.0±



日本が生んだ世界のボール
日本ハンドボール協会検定球(J・H・A)

タチカラミムレスボール

タチカラのハンドボールは縫ボールと同じ構造のチューブが離れたL・B・C中空製法です。



タチカラ株式会社

東京都台東区松ヶ谷1-11-7
東京・大阪・名古屋・福岡・札幌

4.0cm、モスクワ45.0±3.0cm、世界選手権51.0±3.0cm、ソウル予選56.0±6.0cmと徐々に高まっている傾向にあり、これをモントリオールと比べてみると統計的に有意に高い値である。(P<0.01)。

最大酸素摂取量では、モスクワ48.9±3.23 ml/kg/m、ソウル予選41.0±10.5ml/kg/minの値で、モスクワよりも有意に低かった。(P<0.05)。

4. 考 察

(1) 体 格

身長では、図1に示したとおり、モントリオール・オリンピックの初出場から、ソウル予選までの11年間で約5cmほど高くなり、大型化の傾向にあるが、世界のトップクラスのチーム平均をみると、ソ連チーム

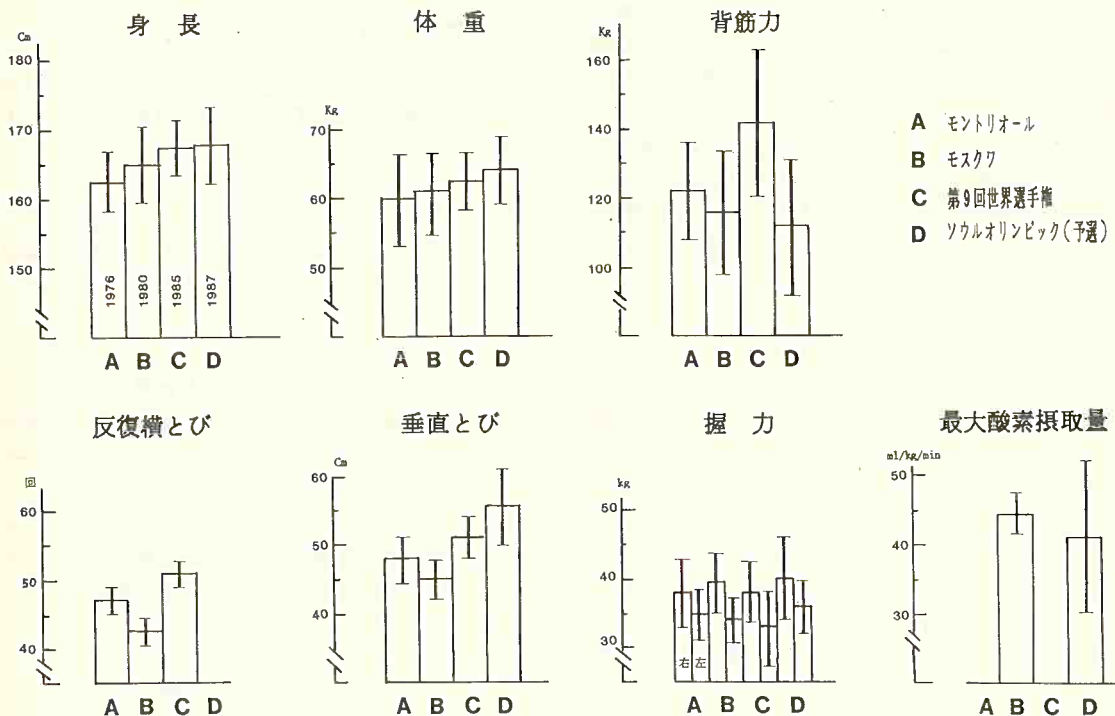
176.0±6.10cmと間もなく180cmに達しようとしている。女子でも男子選手並みの“高さとパワーのハンドボール”を展開している。当然なことながら、ハンドボールの競技特性からしても、長身者は有利な条件の一つでもあることから、日本チームの身長を170cm以上の大型化にすることが世界のトップクラスに入ることができるであろう。前回報告した男子の強化策と同じようなジュニア対策を早急に推進しなければならない。

(2) 体 力

<筋力>

握力*前回の男子の報告のところで、握力の重要性について述べたが、握力と競技力との関係から左右を同じ値に向上してほしい。

図1にみられるようにモントリオールからソウル予選までほとんど変化はみられない。



女子オリンピック選手の体力(1976~1987)

A4版84ページ・カラーページにスーパーショット満載!
月刊誌スポーツイベントハンドボール
毎月20日全国書店にて発売中!

1冊¥600 年間購読(1年間12冊・¥7,200/半年間6冊・¥3,600)

(株)スポーツイベント 〒101 東京都千代田区神田小川町1-9 川上ビル3F ☎03-294-5231(代)

さて、これを同じ種目の球技と比較してみると、バスケットボール(右) $36.4 \pm 5.63 \text{kg}$ (1972)、左 $33.7 \pm 6.67 \text{kg}$ (1972)⁴⁾、バレーボール(右) $38.5 \pm 5.40 \text{kg}$ (左) $38.17 \pm 4.22 \text{kg}$ (1984)⁴⁾であり、ハンドボール選手はバレーボール選手とほぼ同じ水準で、球技種目としては優れているとはいえないが、今後、45kgを目標にしたトレーニングが必要といえよう。

次に背筋力では、世界選手権(1985)チームの水準は $141 \pm 21.0 \text{kg}$ で、今まででもっともよい値であり、ソウル予選チーム(1987)では $112 \pm 21.0 \text{kg}$ と29kgの低下がみられている。

世界のトップクラスにいる全日本バレーボール選手をみると、ミュンヘン・オリンピックチーム(1972) $123.9 \pm 16.0 \text{kg}$ 、ロサンゼルス(1984) $108.1 \pm 17.8 \text{kg}$ の水準である。また、バスケットボール選手は、バレーボール選手とほぼ同じ水準を示しており、バスケットボール選手よりもやや高い傾向がみられる。

日本ハンドボール協会トレーニング・ドクター群では、背筋力を自己の体重の3.0倍⁵⁾とすることを目標に筋力を高めることが全日本、ジュニア選手の競技力向上につながることを提唱している。その理由は、大型選手の強力なシュートフォームが、広背筋を充分に使っての体幹部のそりから生み出されていることや、日本選手が外国選手のような大型選手との身体接触時によくみられている相手をはじきとばす能力をもつことや、さらには身体のバランスを保つ必要からも上・下肢の筋力の強化が重要である。

下肢の筋パワーをみるために垂直跳をみてみると、図1にみられるように、モントリオール $48.0 \pm 4.0 \text{cm}$ 、ソウル予選 $56.0 \pm 6.0 \text{cm}$ との比較では8cm増加し着実に筋パワーの強化が認められている。

日本女子バレーボール選手の垂直跳をみるとミュンヘン $55.4 \pm 3.77 \text{cm}$ 、ロスアンゼルス $55.71 \pm 3.32 \text{cm}$ と55cm水準を示しており、また日本女子バスケットボール選手では、ミュンヘン $49.8 \pm 3.78 \text{cm}$ である。日本女子ハンドボール選手の垂直跳は、バレーボール選手とほぼ同じ水準であるが、ハンドボール競技では、世界のトップチームに長身の選手と対応するためには、より高いジャンプ力を身につけることが競技の展開に有利であることはいうまでもない。

最大酸素摂取量をみると、この値の大きい選手は全身持久力が高いことになるが、日本女子ハンドボール選手をみると、モスクワ $48.9 \pm 3.23 \text{ml/kg/min}$ 、ソウル予選 $41.0 \pm 10.5 \text{ml/kg/min}$ とかなりの低下傾向がみられる。

全身持久力を高めるトレーニングの計画実施面で、ハンドボール競技の特性面からみて、有酸素パワー、無酸素パワーを高めることを重視する必要がある。

スポーツ競技において、最高能力を発揮するためには、精神×技術×体力の充実が必要である。この三者のバランスがとれて、はじめて競技力が向上することを再認識する必要がある。

今後、指導者、選手、そして研究スタッフが一体となってハンドボール競技に必要な基礎体力、すなわち、走・跳・投を高めるためのトレーニングを積極的に実践することによって、はじめて世界水準にレベルアップできる可能性が見い出せるのではなかろうか。

〔文 献〕

- 1) 第20回ミュンヘン・オリンピック日本代表選手体力測定報告。昭和47年度日本体育協会スポーツ科学研究報告。1～98。1972。
- 2) 第21回モントリオール・オリンピック大会日本代表選手体力測定報告。昭和50年度日本体育協会スポーツ科学研究報告。1～107。1976。
- 3) わが国における代表的な競技選手についての健康診断・体力測定報告。昭和55年度日本体育協会スポーツ科学研究報告。1～47。1980。
- 4) 第23回ロサンゼルス・オリンピック大会日本代表選手健康診断・体力測定報告。昭和59年度日本体育協会スポーツ科学研究報告。1～62。1984。
- 5) 阿部徳之助他：手たき伏臥腕屈伸に関する実験的研究。昭和59年度日本体育協会スポーツ医・科学研究報告。27～29。1984

NISHIOKA

日本ハンドボール協会検定
ハンドボールゴール

本年納入先 大阪府立体育館
大阪市長居球技場

新発売

ワイヤレススコアボード(多種日用)

西岡体機工業株式会社

〒558 大阪市住吉区南住吉3丁目17-5

電話(06)693-5756~9
FAX(06)694-5040



本渡市	16	15	水俣市	23	14	人吉市
菊池郡市	37	3	鹿本郡市	18	9	八代市
人吉市	26	7	牛深市			
八千代市	17	12	宇土郡			
▼2回戦						
下益城郡	20	19	八代郡			
天草郡	19	14	本渡市			
菊池郡市			菊池郡市	18	14	人吉市
▼準決勝			玉名市			八代市
天草郡市	18	14	下益城郡			
菊池郡市	26	15	玉名市			
▼3位決定戦						
下益城郡	25	15	玉名市			

▼決勝			菊池郡市15	8	7	6	12	天草郡
▼1回戦			8	7	6			
▼準決勝戦			8	4				玉名市

熊本市	6	5	八代郡		
下益城郡	11	1	本渡市		
▼決勝					
下益城郡11	3	8	2	7	熊本市

第41回鹿児島県民大会

第一回中高ふれあいハンドボールフェスティバル

設楽 孝治



県立藤沢北高等学校では、昨年より学校行事の一環として「中高ふれあいコンサート」と題して文化的な行事を実施してまいりました。これは、中高ふれあい教育の一助として、地元湘南地区の中学校・小学校の吹奏楽部を本校に招待し、合同発表会を実施するもので、各校間の友情を深め、互いの活動の励みとなる意味で、また、湘南地区の学校間の連携を深める意味でも有意義な行事となっております。

さらに今年度からは、同じような趣旨での湘南地区学校間連携事業の一助として、体育的な行事をと考えておりましたが、全職員との協力と湘南地区ハンドボール関係者の御理解により、「中高ふれあいハンドボールフェスティバル」を本校グラウンドにて実施いたしました。このような行事は全国的にも珍しく、準備の段階やフェス

ティバル当日は、関係者にもいろいろと御足労をおかけすることになりましたが、湘南地区の中学校チーム(男子8チーム・女子3チーム)を本校に招待し、1日中ハンドボールの試合を行うことにより、各チーム間の友情と協調あるいは、相互理解を深めると共に、技術的にも得ることも多く、参加選手や競技役員それらに実施にあたって中心的な役割を果たした本校ハンドボール部員も含めて、楽しい秋の1日を過ごすことができました。

本校では、これからも中高連携事業の一環として、「中高ふれあいコンサート」、「中高ふれあいハンドボールフェスティバル」の実施を予定しており、湘南地区学校間連携事業の一助として、地域に定着させたいと考えております。ここに、「中高ふれあいハンドボールフェスティバル」の結果をお

第一回中高ふれあいハンドボールフェスティバル試合結果

南林間	54	6	南瀬谷
大野	49	0	藤ヶ岡
横内	28	8	大和
大正	24	8	藤沢第一
▼準決勝			
横内	29	16	大野正
南林間	20	13	大野
▼決勝			
南林間	17	10	横内
▼敗者復活戦			
藤ヶ岡	7	10	南瀬谷
藤沢第一	18	16	大和
▼女子			
▼リーグ戦			
南林間	12	5	藤沢第一
藤沢第一	18	4	大野
南林間	31	3	大野
野			

始良	15	16	3	4	7	鹿児島
▼決勝						
鹿児島	67	33	0	11		川
始良						曾
▼準決勝						於
鹿児島						川
始良						川
(川内高)						薩
川内	18		10			(川内商工)
始良	46		3			出
(二園分)						水
始良	33		22			大
(鹿懸)						(大島高)
鹿児島	33		22			大
始良	22		15			日
(財部高)						置
鹿児島	22		15			曾
始良	13		13			於
(鹿懸)						良
鹿児島	13		13			曾
始良	40		24			始
▼準決勝						良
鹿児島	40		24			出
始良	31		18			水
▼1回戦						(出水高)
鹿児島	56		24			出
始良	32		23			水
(財部高)						揖
曾	61		5			宿
於	27		21			川
(二園分)						川
始良	61		5			薩
鹿児島	27		21			川
始良						川
▼1回戦						薩
鹿児島						川
始良						川
(二園分)						薩
曾						川
於						川
(財部高)						薩
大						川
高						川
始良						薩
▼準決勝						川
鹿児島						川
始良						薩
▼1回戦						川
鹿児島						川
始良						薩
(二園分)						川
曾						川
於						薩
(財部高)						川
大						川
高						薩
始良						川
▼準決勝						川
鹿児島						川
始良						薩
▼1回戦						川
鹿児島						川
始良						薩
(二園分)						川
曾						川
於						薩
(財部高)						川
大						川
高						薩
始良						川
▼準決勝						川
鹿児島						川
始良						薩
▼1回戦						川
鹿児島						川
始良						薩
(二園分)						川
曾						川
於						薩
(財部高)						川
大						川
高						薩
始良						川
▼準決勝						川
鹿児島						川
始良						薩
▼1回戦						川
鹿児島						川
始良						薩
(二園分)						川
曾						川
於						薩
(財部高)						川
大						川
高						薩
始良						川
▼準決勝						川
鹿児島						川
始良						薩
▼1回戦						川
鹿児島						川
始良						薩
(二園分)						川
曾						川
於						薩
(財部高)						川
大						川
高						薩
始良						川
▼準決勝						川
鹿児島						川
始良						薩
▼1回戦						川
鹿児島						川
始良						薩
(二園分)						川
曾						川
於						薩
(財部高)						川
大						川
高						薩
始良						川
▼準決勝						川
鹿児島						川
始良						薩
▼1回戦						川
鹿児島						川
始良						薩
(二園分)						川
曾						川
於						薩
(財部高)						川
大						川
高						薩
始良						川
▼準決勝						川
鹿児島						川
始良						薩
▼1回戦						川
鹿児島						川
始良						薩
(二園分)						川
曾						川
於						薩
(財部高)						川
大						川
高						薩
始良						川
▼準決勝						川
鹿児島						川
始良						薩
▼1回戦						川
鹿児島						川
始良						薩
(二園分)						川
曾						川
於						薩
(財部高)						川
大						川
高						薩
始良						川
▼準決勝						川
鹿児島						川
始良						薩
▼1回戦						川
鹿児島						川
始良						薩
(二園分)						川
曾						川
於						薩
(財部高)						川
大						川
高						薩
始良						川
▼準決勝						川
鹿児島						川
始良						薩
▼1回戦						川
鹿児島						川
始良						薩
(二園分)						川
曾						川
於						薩
(財部高)						川
大						川
高						薩
始良						川
▼準決勝						川
鹿児島						川
始良						薩
▼1回戦						川
鹿児島						川
始良						薩
(二園分)						川
曾						川
於						薩
(財部高)						川
大						川
高						薩
始良						川
▼準決勝						川
鹿児島						川
始良						薩
▼1回戦						川
鹿児島						川
始良						薩
(二園分)						川
曾						川
於						薩
(財部高)						川
大						川
高						薩
始良						川
▼準決勝						川
鹿児島						川
始良						薩
▼1回戦						川
鹿児島						川
始良						薩
(二園分)						川
曾						川
於						薩
(財部高)						川
大						川
高						薩
始良						川
▼準決勝						川
鹿児島						川
始良						薩
▼1回戦						川
鹿児島						川
始良						薩
(二園分)						川
曾						川
於						薩
(財部高)						川
大						川
高						薩
始良						川
▼準決勝						川
鹿児島						川
始良						薩
▼1回戦						川
鹿児島						川
始良						薩
(二園分)						川
曾						川
於						薩
(財部高)						川
大						川
高						薩
始良						川
▼準決勝						川
鹿児島						川
始良						薩
▼1回戦						川
鹿児島						川
始良						薩
(二園分)						川
曾	</					

「日本ハンドボール史」購入の申し込みをお早めに

みなさますでに御承知のように、日本ハンドボール協会創立50周年を記念しての「日本ハンドボール史」が、今春無事完成致しました。

この冊子は、右の内容を御覧いただいてもわかりますように、日本ハンドボール界の50年の歩みを余す所なく御紹介するとともに、これまで埋もれていた様々なエピソードを紹介し、記録としても、読物としても大変興味深いものとなっております。

これまで日本ハンドボール界のために尽くしてこられた方々にも、また、今後日本ハンドボール界を背負っていただく方々にも、是非御一読いただきたいと思えます。

〔「日本ハンドボール史」の主な内容〕

〔体裁〕 B5判 880頁 ケース入り
〔主な内容〕

- 日本ハンドボール50年の歩み
- 47都道府県協会史
- 全国連盟・団体の歩み
- ハンドボール史を彩るエピソード
- 全国大会の記録をすべて
- 海外の主要な大会（オリンピック、世界選手権、アジア大会など）の記録

〔定価〕 7000円

※次第に残り部数が少なくなってきておりますので、御希望の方は、なるべく早めに下記宛お申し込み下さい。

〒150東京都渋谷区神南1-1-1岸記念体育館内
(助)日本ハンドボール協会

「日本ハンドボール史」係

TEL 03-481-2361

瞬間、信頼の手がかり!

独自の32面体
 nonsリップ構造で
 ダイナミックプレーを演出する
 モルテンハンドボール

独特のリップ形状とパネル間段差の“32面体 nonsリップ構造”で確かな手がかりを生み出すとともに、ナイロン糸巻構造をほどこし、すばらしい耐久性、真球性をも実現したモルテンハンドボールは、日本ではじめて国際ハンドボール連盟 (I.H.F.) 公認を獲得。ハンドボーラーの圧倒的な人気と信頼を集めています。

●日本ハンドボール協会公認球 (J.H.A.) ●国際ハンドボール連盟公認球 (I.H.F.)

モルテン
ハンドボール

株式会社 **モルテン**
東京本社 東京都豊田区横川5-5-7 西130 ☎(03)525-7581
東京・大阪・広島・名古屋・福岡・札幌・ロサンゼルス・ジュネボルドルフ

asics TIGER®



オリンピック



JSS 1003

アシックスは
オリンピックキャンペーンの
オフィシャルスポンサーです。

百個のグリップ力。アウトドア専用。

マルチコンソールが、グラウンドを確実にグリップする。初のアウトドアハンドボールシューズ、スカイハンド® SL。

アウターソールには、片足に100個以上のポイントを独特の形状で配置。アウトドアのグラウンドコンディションに確実に応えるハンドボールシューズの登場です。側面には傾斜をつけ、倒れ込みシュートを打ちやすく。かかと部を拡げて着地衝撃を吸収しやすい形状に。大空での空中戦を十二分に意識した、初めてのハンドボールシューズです。

品番 THH 501 品名 スカイハンド® SL
メーカー希望小売価格 ¥9,200
カラー/ホワイト×レッド
ホワイト×ネイビーブルー
サイズ/22.5-28.0cm

株式会社アシックス

●お問い合わせは株式会社アシックス消費者相談課までどうぞ。〒650 神戸市中央区港島中町7丁目1番1号 ☎(078) 303-2233(専用) (078) 303-3333(大代)
〒130 東京都墨田区錦糸4丁目10番11号 ☎(03) 624-1814(専用) (03) 624-2221(大代) ■本文中®は®アシックスの登録商標です。

視界、360°

経済情勢の視界、良好ですか？

時々刻々と移り変わる情報をいかにすばやくキャッチして
いかに的確な判断を下していくか、それが資産運用の条件です。
東洋証券は、あなたの資産運用の水先案内人。
確かな情報網とキメ細かいサービスで、明日への視界をひろげます。



東洋証券

■本店：〒103 東京都中央区日本橋1-20-5 ■電話：03(274)0211 ■資本金：59億円強 ■社員数：1,350人
■店舗網：全国40店舗 海外：ロンドン・ニューヨーク

中期国債ファンド

〈公社債投資信託・追加型〉〈設定・運用は日興投信〉

好利回りで、出し入れ自由
■1か月複利で好利回り。■優遇格。
■1か月据え置きは、手数料なしで出し入れ自由。
(お申し込みは10万円以上1万円単位)

御声援ありがとうございました。

